

奈良県推計人口年報

[令和7年10月1日現在]

- 1 奈良県推計人口
- 2 市町村別推計人口
- 3 世帯数
- 4 人口密度
- 5 人口性比
- 6 奈良県年齢別推計人口の状況

[令和6年10月1日～令和7年9月30日]

- 7 人口動態 [自然動態及び社会動態]

令和7年3月

奈良県総務部知事公室政策推進課

1. 奈良県推計人口

(令和7年10月1日現在)

- 奈良県の推計人口 1,274,196人 [前年より10,898人(0.85%)減少]
- 平成12年以降、26年連続で減少

※前年とは、令和6年10月1日現在の推計人口を指す(以下同様)

図1 毎年10月1日現在の推計人口の推移

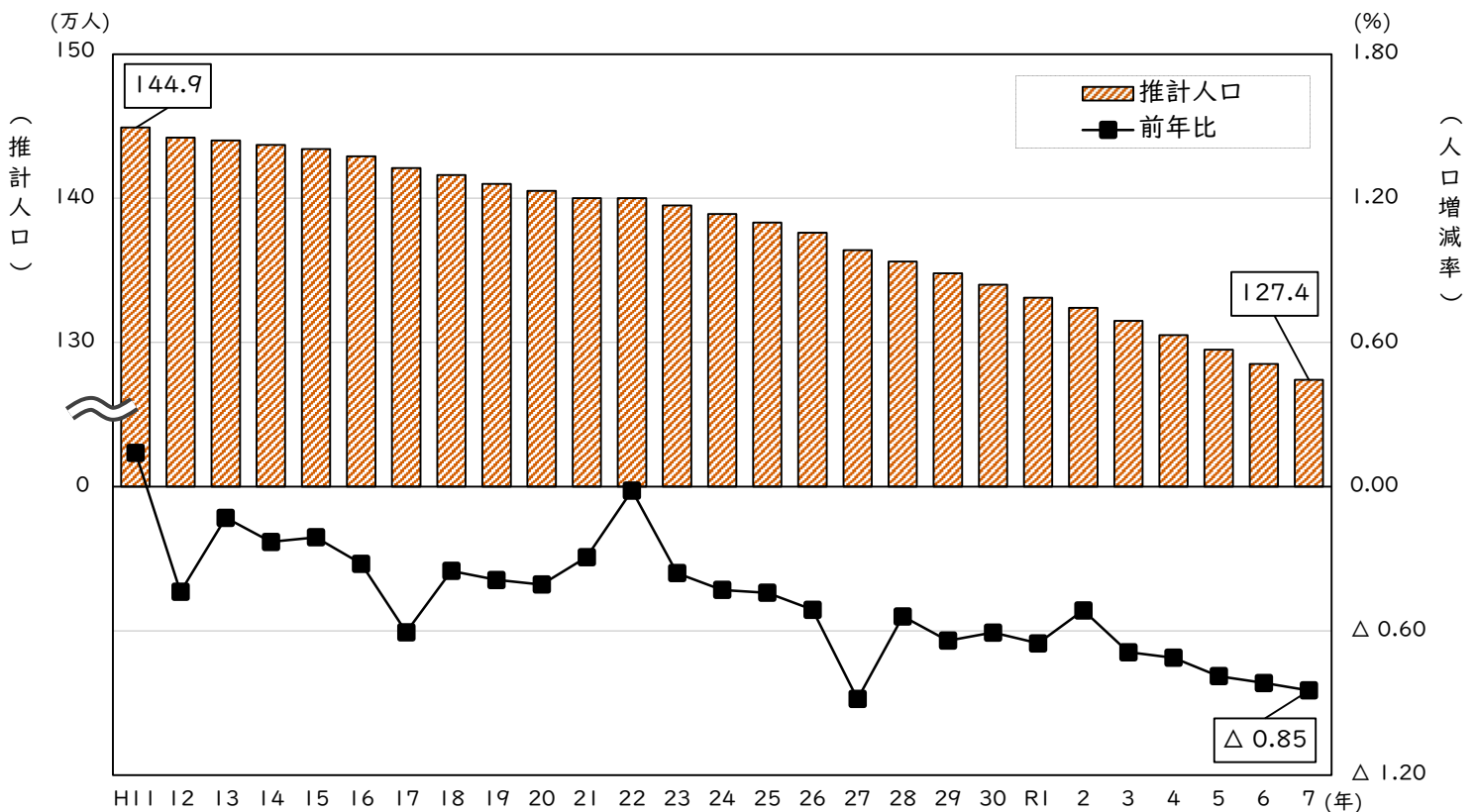


表1 毎年10月1日現在の推計人口の推移

年次	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年
推計人口(人)	1,449,138	1,442,795	1,440,920	1,437,611	1,434,576	1,429,969	1,421,310	1,416,323	1,410,825
人口増減率(%)	0.14	Δ0.44	Δ0.13	Δ0.23	Δ0.21	Δ0.32	Δ0.61	Δ0.35	Δ0.39
年次	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
推計人口(人)	1,405,074	1,400,951	1,400,728	1,395,687	1,389,690	1,383,549	1,376,466	1,364,316	1,356,950
人口増減率(%)	Δ0.41	Δ0.29	Δ0.02	Δ0.36	Δ0.43	Δ0.44	Δ0.51	Δ0.88	Δ0.54
年次	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
推計人口(人)	1,348,257	1,340,070	1,331,330	1,324,473	1,315,350	1,305,981	1,295,681	1,285,094	1,274,196
人口増減率(%)	Δ0.64	Δ0.61	Δ0.65	Δ0.52	Δ0.69	Δ0.71	Δ0.79	Δ0.82	Δ0.85

※ 図1及び表1の平成12年、17年、22年、27年及び令和2年の人口は国勢調査確定値である。

2. 市町村別推計人口

(令和7年10月1日現在)

○ 市部人口 1,013,933 人 郡部人口 260,263 人

○ 前年に比べ、すべての市町村において人口が減少した

減少数が多い上位3市町村 奈良市 2,385人、大和郡山市 711人、天理市 638人

減少率が高い上位3市町村 東吉野村 4.82%、御杖村 4.57%、吉野町 4.26%

図2 市町村別推計人口

(令和7年10月1日現在)

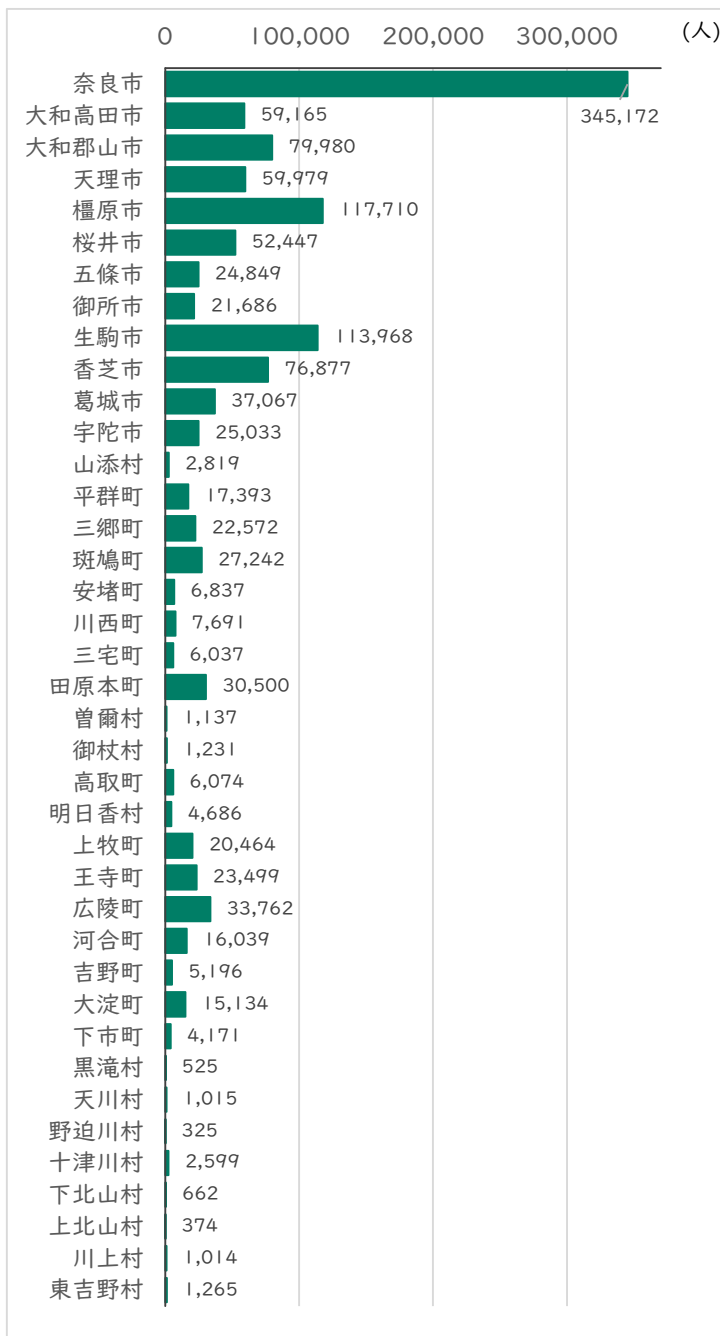


図3 市町村別推計人口増減数

(令和6年10月1日と令和7年10月1日の比較)

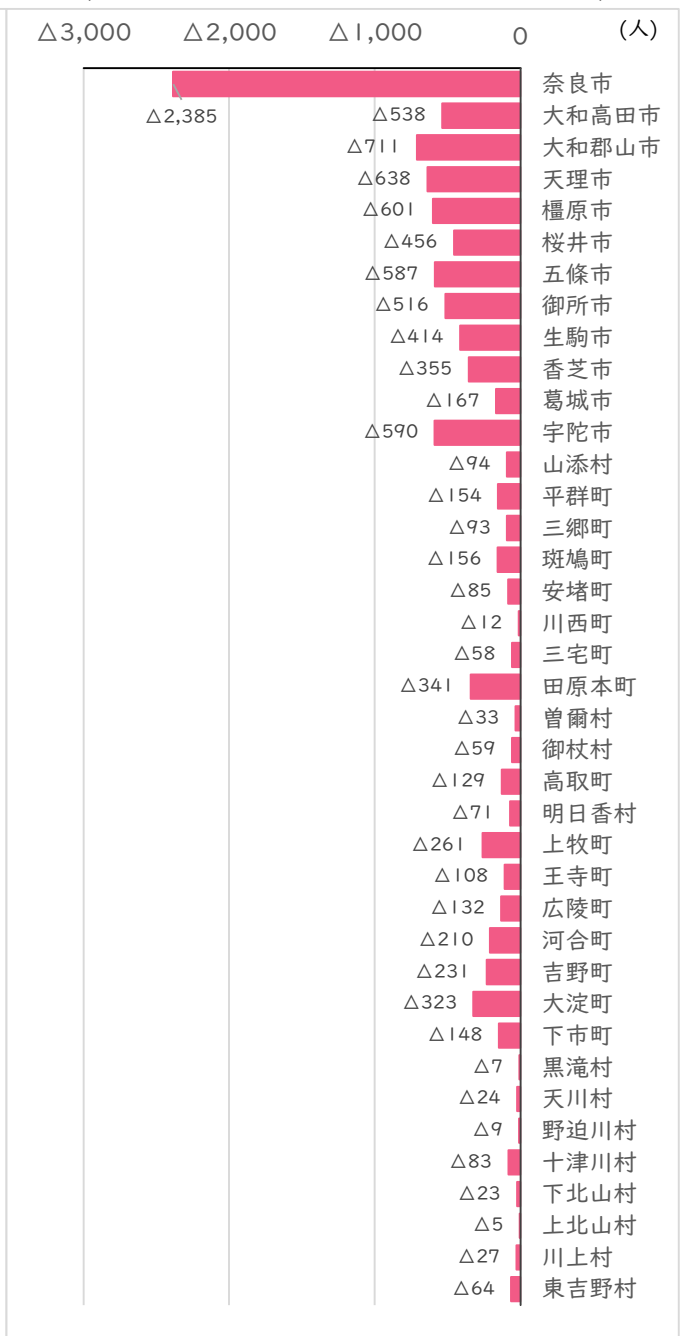
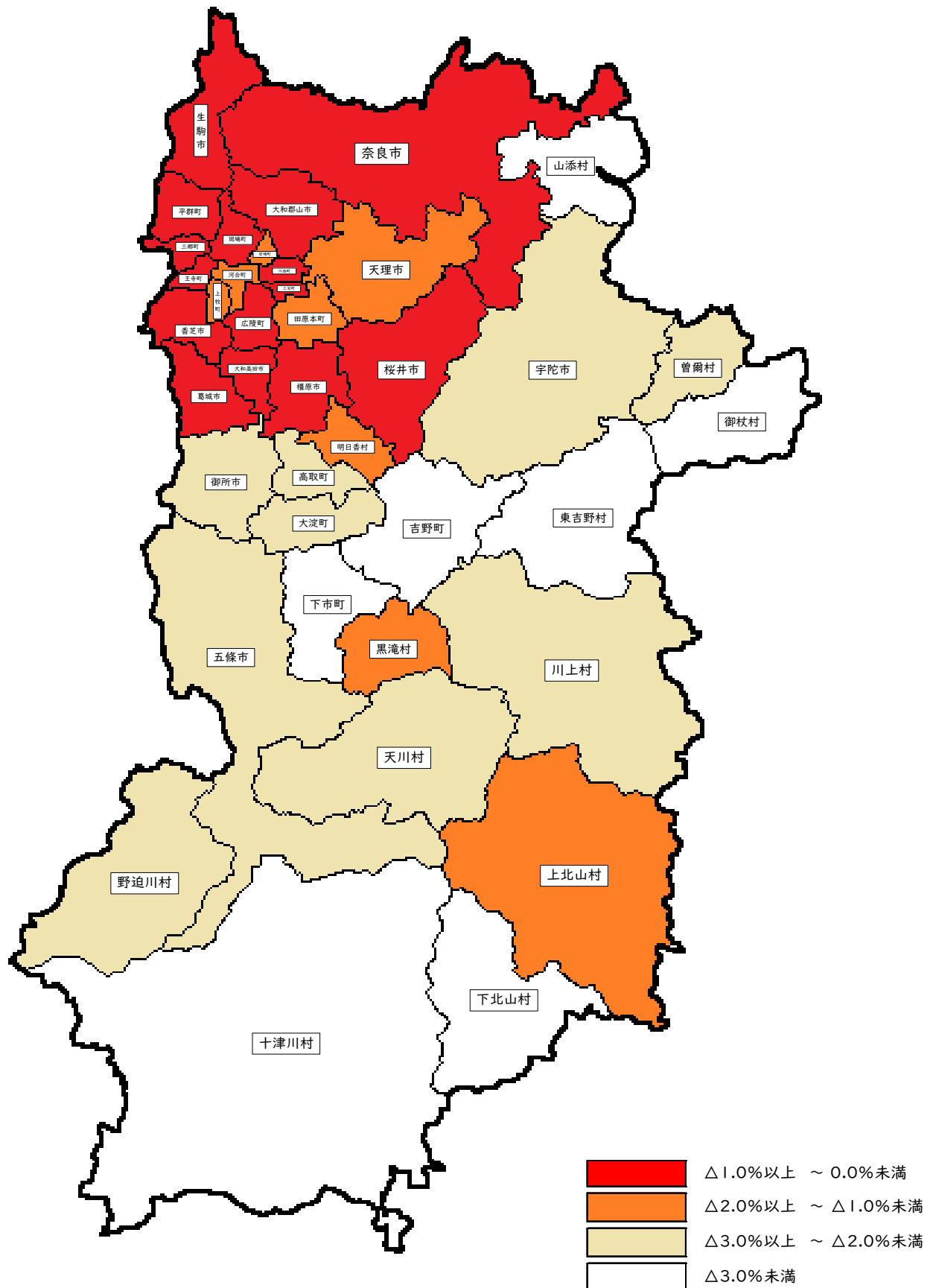


図4 市町村別の人口増減率（令和6年10月1日から令和7年9月30日まで）

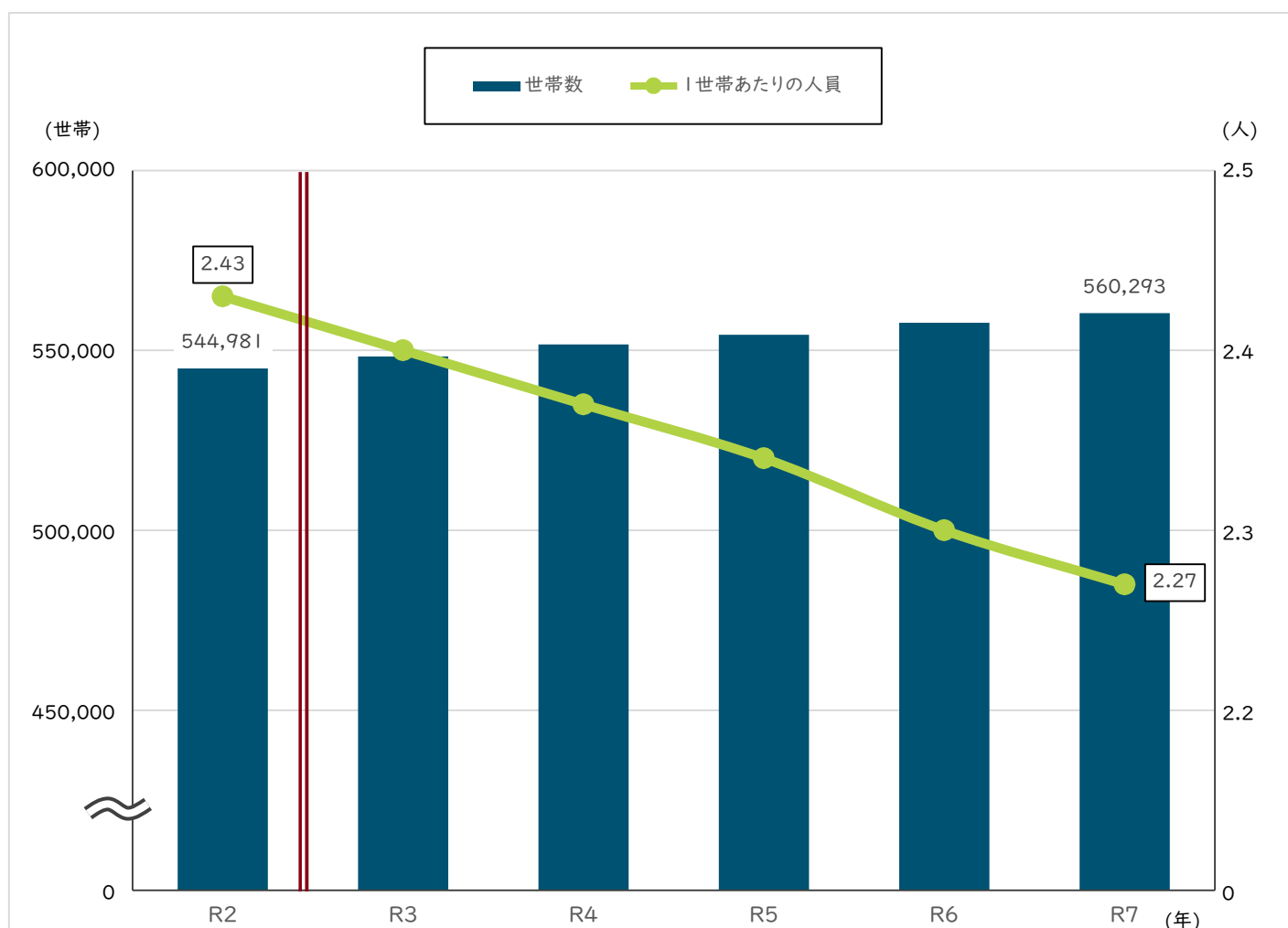


3. 世帯数

(令和7年10月1日現在)

- 奈良県の世帯数 560,293世帯 [前年より2,659世帯(0.48%)増加]
615,926世帯(住民基本台帳による) [前年より2,659世帯(0.43%)増加]
- 1世帯当たりの人員 2.27人 [前年より0.03人減少]
2.07人(住民基本台帳による) [前年より0.03人減少]
- 1世帯当たりの人員が多い市町村
上位3市町村 高取町 2.70人、広陵町 2.65人、山添村 2.62人
- 1世帯当たりの人員が少ない市町村
上位3市町村 上北山村 1.55人、下北山村 1.64人、野迫川村 1.64人

図5 10月1日現在の世帯数と1世帯当たりの人員の推移



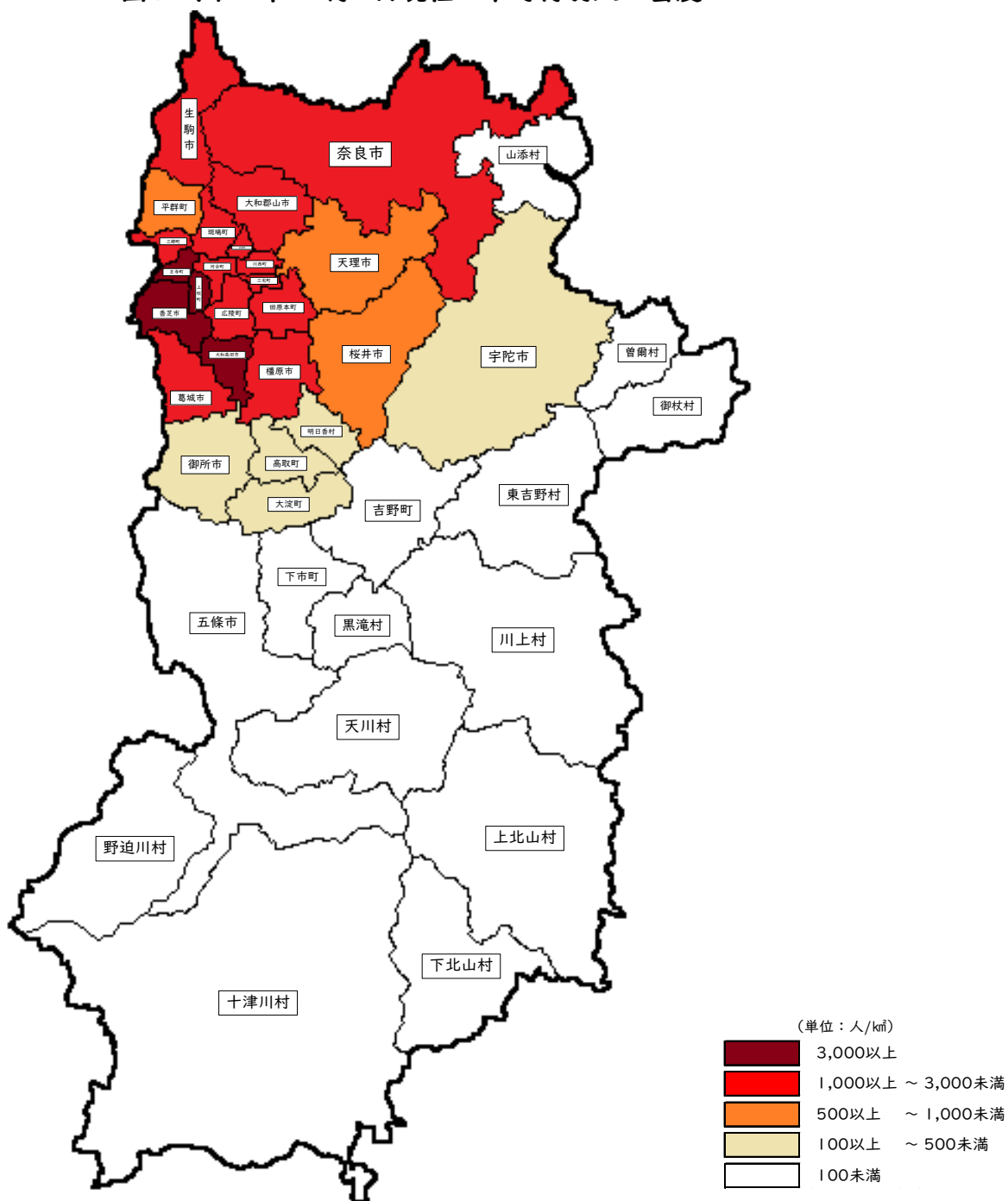
※令和3年以降は、令和2年の国勢調査の確定値を基礎に推計した世帯数で表している。

4. 人口密度 [1km²あたり人口]

(令和7年10月1日現在)

- 奈良県の人口密度 345.2人(市部 797.0人、郡部 107.6人)
- 人口密度の高い市町村
上位3市町村 大和高田市 3,590.1人、王寺町 3,352.2人、上牧町 3,332.9人
- 人口密度の低い市町村
上位3市町村 上北山村 1.4人、野迫川村 2.1人、川上村 3.8人

図6 令和7年10月1日現在の市町村別人口密度



5. 人口性比 [女性100人に対する男性の数]

(令和7年10月1日現在)

○ 奈良県の人口性比 88.51 (男性人口 598,275人、女性人口 675,921人)

○ 人口性比が高い市町村

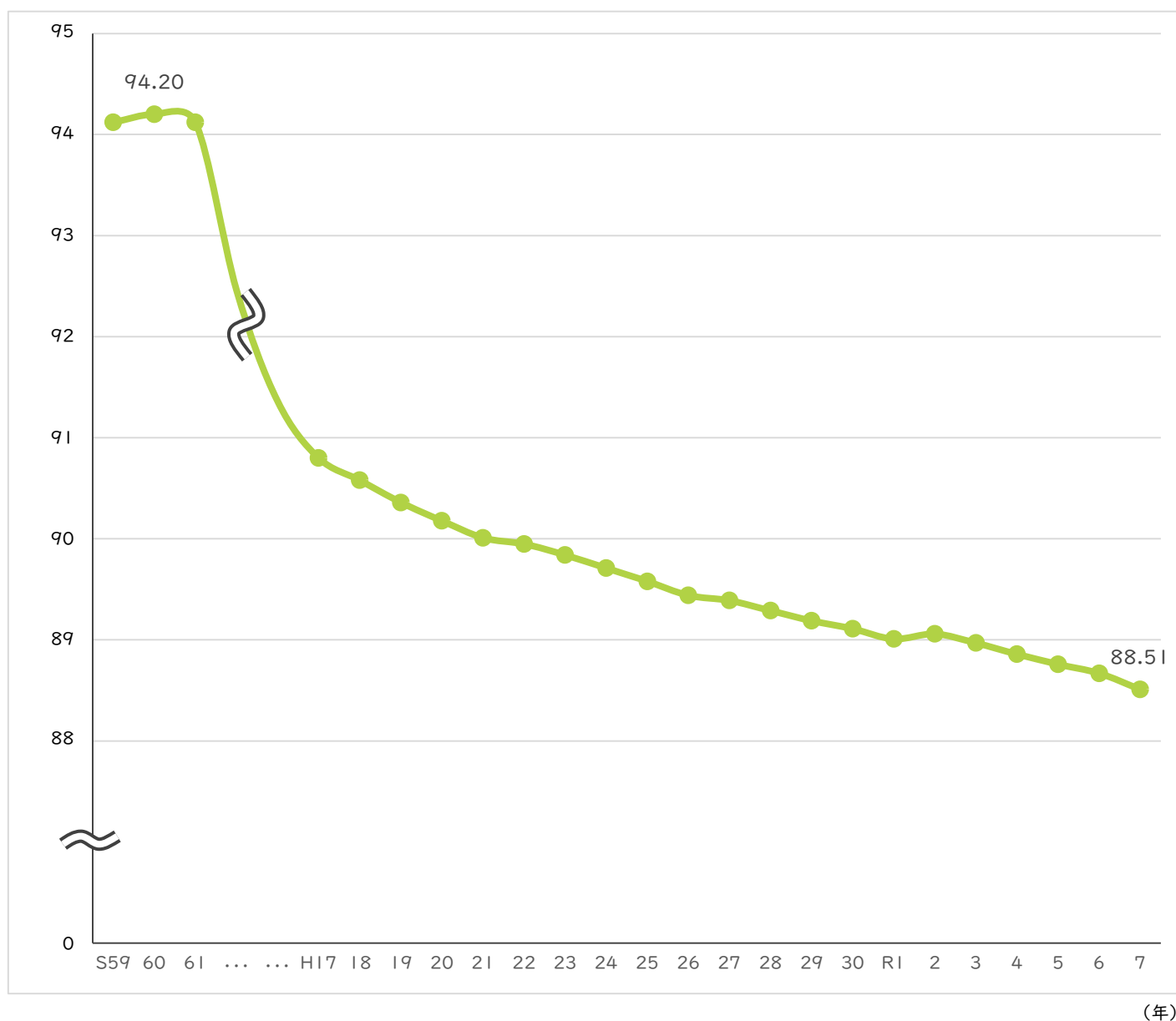
上位3市町村 十津川村 123.67、上北山村 112.50、野迫川村 108.33

○ 人口性比が低い市町村

上位3市町村 曽爾村 85.18、東吉野村 85.21、御所市 85.92

※人口性比=男性人口÷女性人口×100

図7 毎年10月1日現在の人口性比の推移



(年)

6. 奈良県年齢別推計人口の状況

(令和7年10月1日現在)

○奈良県の人口	1,274,196人 [前年より10,898人(0.85%)減少]
○年少人口(15歳未満)	137,782人 [前年より3,756人(2.65%)減少]
○生産年齢人口(15~64歳)	713,241人 [前年より6,622人(0.92%)減少]
○老年人口(65歳以上)	423,173人 [前年より520人(0.12%)減少]
○年齢3区分別人口割合	
	年少人口 10.81%、生産年齢人口 55.98%、老年人口 33.21%

図8 奈良県人口ピラミッド(令和7年10月1日現在)

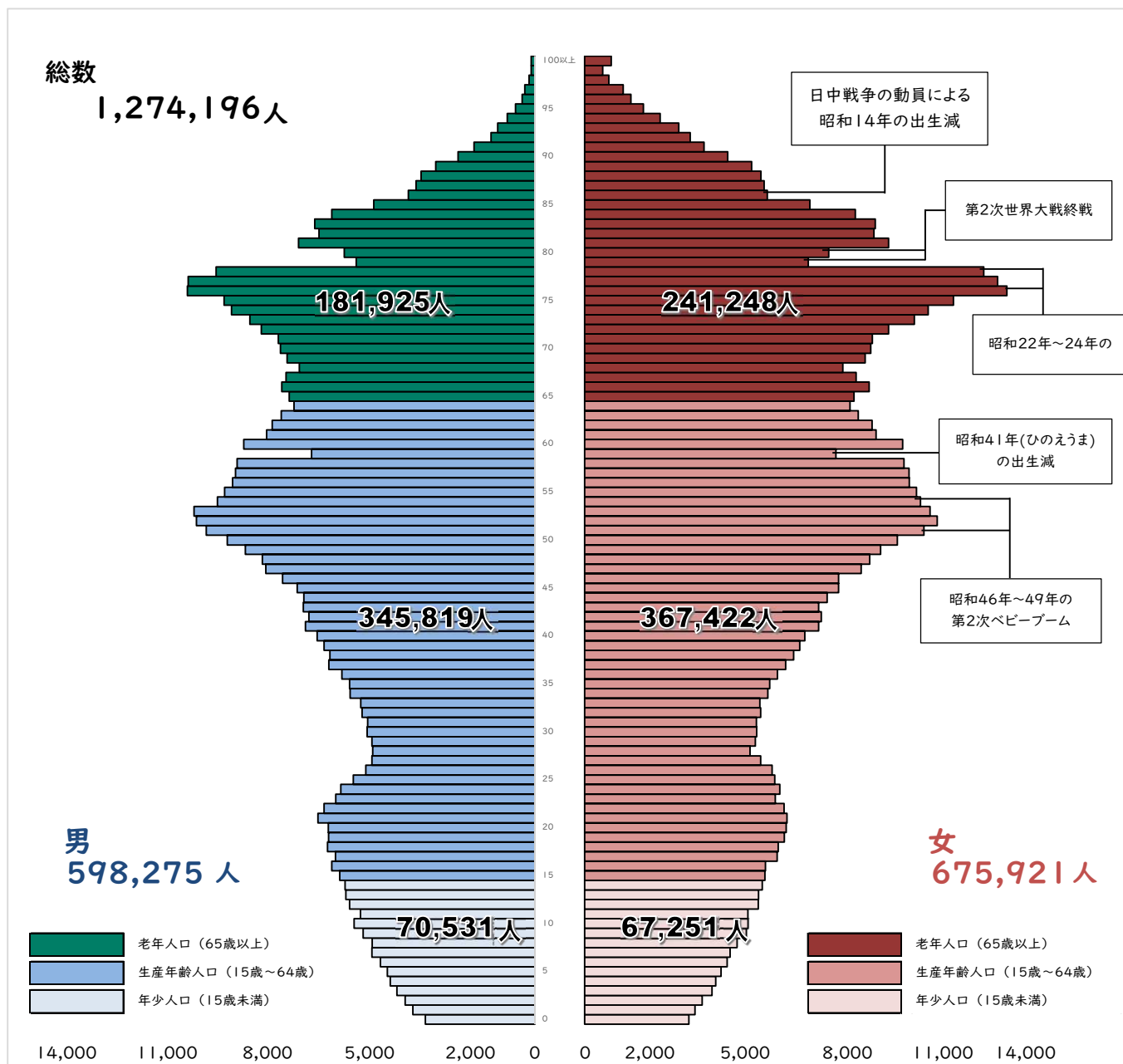
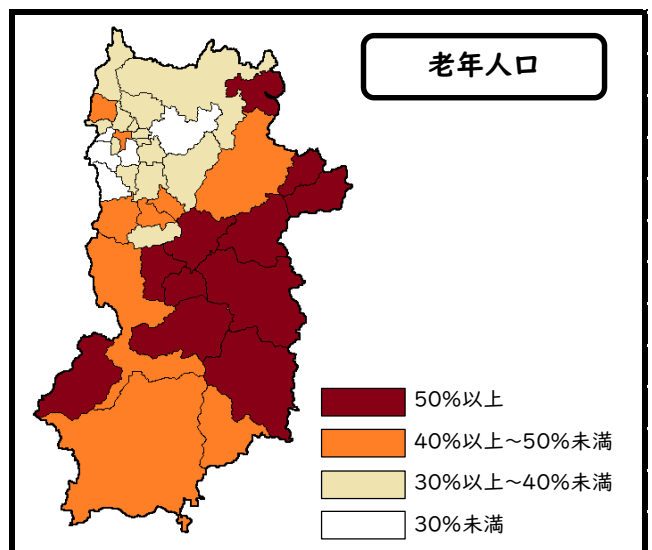
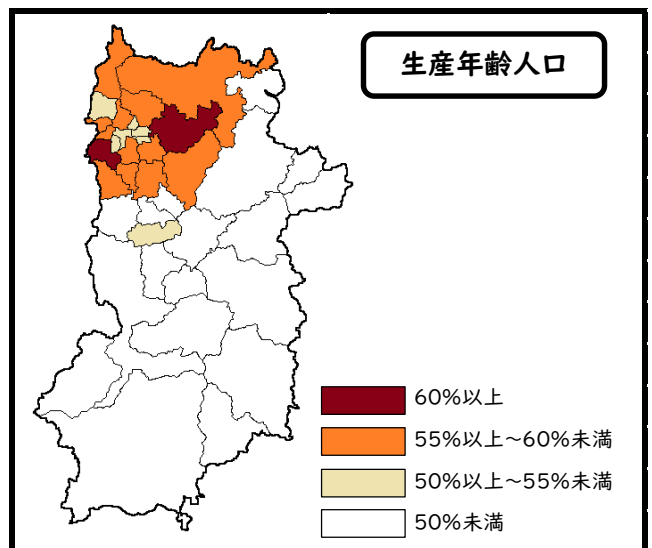
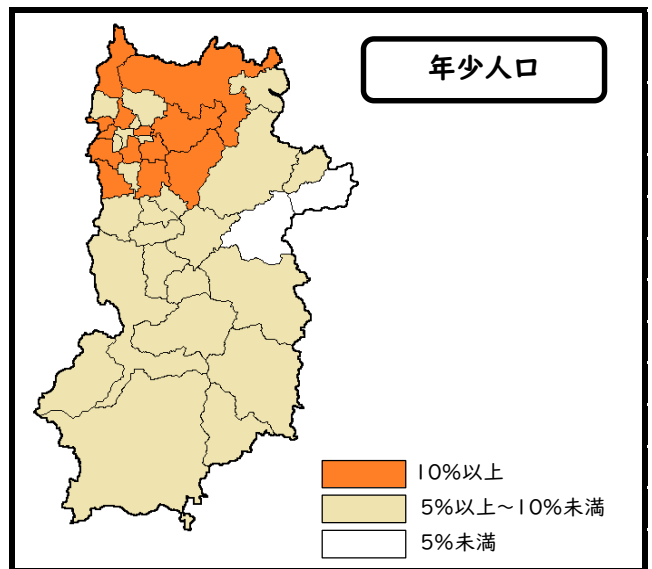


表2. 市町村別年齢3区分別人口の順位

	年少人口 (15歳未満)		生産年齢人口 (15~64歳)		老年人口 (65歳以上)	
	市町村名	割合 (%)	市町村名	割合 (%)	市町村名	割合 (%)
1	葛城市	14.56	香芝市	61.11	御杖村	63.28
2	広陵町	14.48	天理市	60.23	東吉野村	60.40
3	王寺町	14.18	橿原市	58.72	黒滝村	56.57
4	香芝市	13.53	広陵町	57.47	吉野町	56.33
5	斑鳩町	13.28	葛城市	57.30	川上村	55.52
6	生駒市	12.31	生駒市	57.17	曾爾村	53.91
7	田原本町	11.76	大和高田市	57.14	天川村	53.89
8	天理市	11.12	奈良市	56.42	山添村	52.82
9	橿原市	10.91	王寺町	56.34	下市町	52.36
10	三郷町	10.81	三郷町	55.99	上北山村	50.53
11	桜井市	10.58	斑鳩町	55.76	野迫川村	50.15
12	奈良市	10.52	桜井市	55.65	下北山村	46.37
13	川西町	10.25	大和郡山市	55.55	宇陀市	46.06
14	平群町	9.91	田原本町	55.31	高取町	44.88
15	大和郡山市	9.87	安堵町	53.68	御所市	44.75
16	明日香村	9.69	川西町	53.54	明日香村	44.43
17	三宅町	9.54	上牧町	53.31	十津川村	43.67
18	大和高田市	9.02	大淀町	53.23	五條市	43.62
19	上牧町	8.84	三宅町	53.02	河合町	40.57
20	河合町	8.83	河合町	50.60	平群町	40.02
21	下北山村	8.76	平群町	50.07	大淀町	39.24
22	川上村	8.48	五條市	49.06	安堵町	38.47
23	曾爾村	8.36	十津川村	48.60	上牧町	37.85
24	安堵町	7.85	御所市	48.34	三宅町	37.44
25	宇陀市	7.79	高取町	47.94	川西町	36.21
26	十津川村	7.73	宇陀市	46.15	大和郡山市	34.59
27	天川村	7.68	明日香村	45.88	大和高田市	33.84
28	大淀町	7.53	下北山村	44.86	桜井市	33.77
29	五條市	7.31	野迫川村	44.31	三郷町	33.20
30	高取町	7.18	上北山村	43.85	奈良市	33.06
31	御所市	6.92	下市町	42.58	田原本町	32.93
32	黒滝村	6.48	山添村	40.79	斑鳩町	30.96
33	山添村	6.39	吉野町	38.63	生駒市	30.52
34	上北山村	5.61	天川村	38.42	橿原市	30.37
35	野迫川村	5.54	曾爾村	37.73	王寺町	29.48
36	下市町	5.06	黒滝村	36.95	天理市	28.65
37	吉野町	5.04	川上村	36.00	葛城市	28.13
38	御杖村	4.63	東吉野村	35.34	広陵町	28.05
39	東吉野村	4.27	御杖村	32.09	香芝市	25.35

図9 市町村別年齢3区分別人口の割合



7. 人口動態[自然動態及び社会動態]

(令和6年10月1日から令和7年9月30日まで)

- 奈良県の人口増減数 10,898人減少 (2,467人増加)
- 自然動態:自然増減数 11,321人減少 (9人増加)
 【 出生児数 6,544人(96人) 死亡者数 17,865人(87人) 】
- 社会動態:社会増減数 423人増加 (2,458人増加)
 【 転入者数 28,889人(6,188人) 転出者数 28,466人(3,730人) 】

※上記転入・転出者数は県外移動者の数値。かっこ内は外国人(内数)の数値。

○ 月別の人口動態

- ・自然動態 すべての月で、死亡数が出生数を上回っている。
- ・社会動態 R6年10月～12月、R7年4月、6月、7月、9月は転入超過となっている。

図10 人口動態の推移

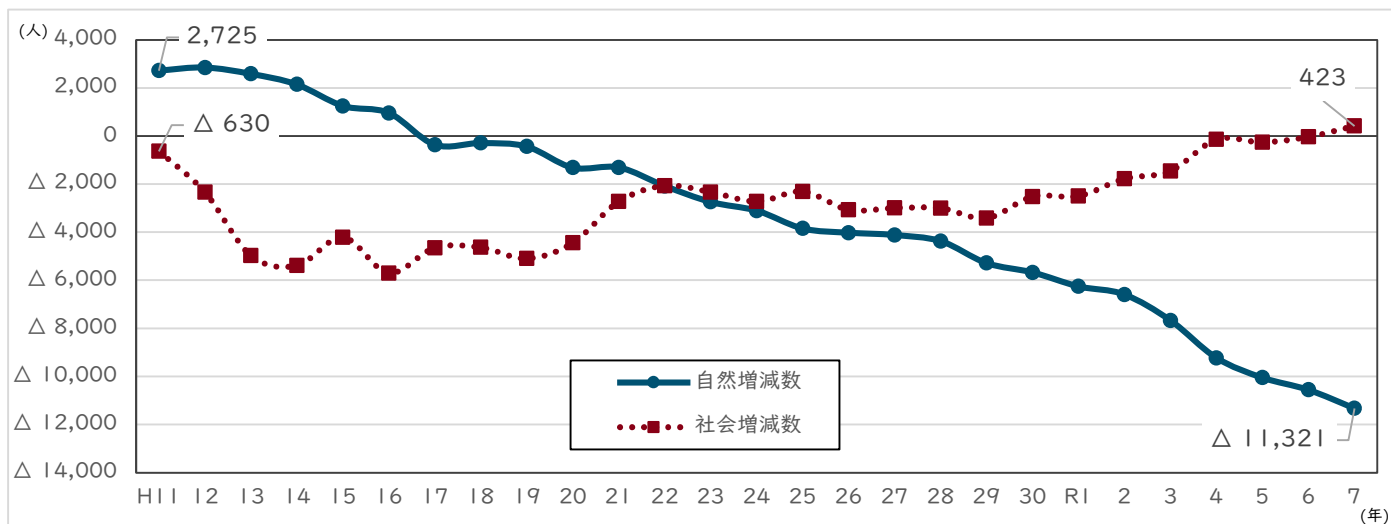


図11 月別自然動態

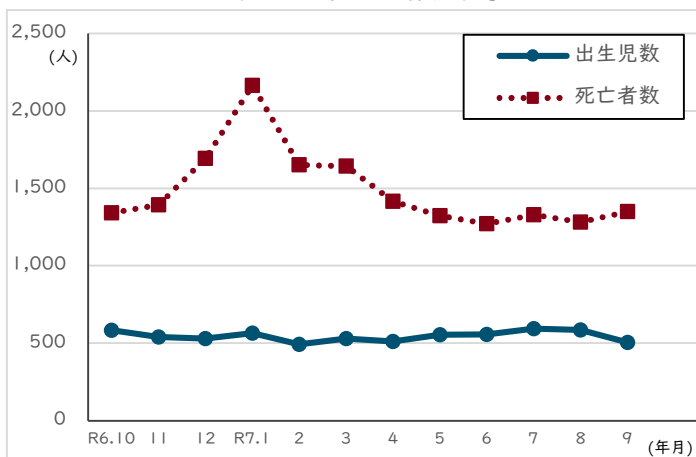


図12 月别社会動態

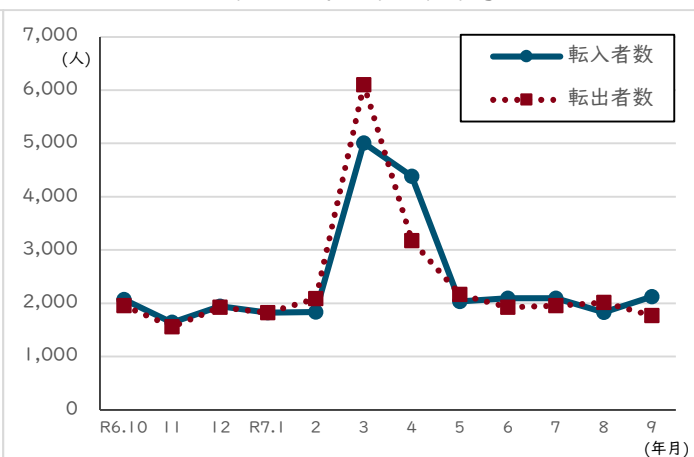


表3 年別人口動態

(単位:人)

年 月	増減数	自然動態 ※1			社会動態 ※1			外国人 登録者数増減
		出生児数	死亡者数	自然増減数	転入者数	転出者数	社会増減数	
平成11年10月 ~ 平成12年9月	475	13,225	10,373	2,852	36,692	39,029	△2,337	△40
平成12年10月 ~ 平成13年9月	△1,875	12,928	10,338	2,590	34,573	39,542	△4,969	504
平成13年10月 ~ 平成14年9月	△3,309	12,673	10,524	2,149	33,289	38,669	△5,380	△78
平成14年10月 ~ 平成15年9月	△3,035	12,259	11,007	1,252	32,464	36,676	△4,212	△75
平成15年10月 ~ 平成16年9月	△4,607	11,866	10,906	960	31,294	36,992	△5,698	131
平成16年10月 ~ 平成17年9月	△4,740	11,384	11,743	△359	30,510	35,153	△4,643	262
平成17年10月 ~ 平成18年9月	△4,987	11,404	11,692	△288	29,807	34,434	△4,627	△72
平成18年10月 ~ 平成19年9月	△5,498	11,404	11,839	△435	29,646	34,737	△5,091	28
平成19年10月 ~ 平成20年9月	△5,751	11,097	12,406	△1,309	28,914	33,354	△4,440	△2
平成20年10月 ~ 平成21年9月	△4,123	10,840	12,143	△1,303	29,059	31,784	△2,725	△95
平成21年10月 ~ 平成22年9月	△4,173	10,743	12,821	△2,078	28,041	30,105	△2,064	△31
平成22年10月 ~ 平成23年9月	△5,041	10,514	13,251	△2,737	27,713	30,043	△2,330	26
平成23年10月 ~ 平成24年9月	△5,997	10,468	13,571	△3,103	27,422	30,144	△2,722	△172
平成24年10月 ~ 平成25年9月	△6,141	10,321	14,160	△3,839	29,367	31,669	△2,302	
平成25年10月 ~ 平成26年9月	△7,083	9,812	13,830	△4,018	28,513	31,578	△3,065	
平成26年10月 ~ 平成27年9月	△7,104	9,984	14,098	△4,114	28,520	31,510	△2,990	
平成27年10月 ~ 平成28年9月	△7,366	9,577	13,946	△4,369	27,954	30,951	△2,997	
平成28年10月 ~ 平成29年9月	△8,693	9,071	14,351	△5,280	27,712	31,125	△3,413	
平成29年10月 ~ 平成30年9月	△8,187	8,960	14,631	△5,671	27,881	30,397	△2,516	
平成30年10月 ~ 令和元年9月	△8,740	8,625	14,873	△6,248	28,386	30,878	△2,492	
令和元年10月 ~ 令和2年9月	△8,360	8,078	14,665	△6,587	26,593	28,366	△1,773	
令和2年10月 ~ 令和3年9月	△9,123	7,710	15,378	△7,668	26,105	27,560	△1,455	
令和3年10月 ~ 令和4年9月	△9,369	7,524	16,754	△9,230	28,367	28,506	△139	
令和4年10月 ~ 令和5年9月	△10,300	7,131	17,176	△10,045	28,631	28,886	△255	
令和5年10月 ~ 令和6年9月	△10,587	6,824	17,376	△10,552	28,551	28,586	△35	
令和6年10月 ~ 令和7年9月	△10,898	6,544	17,865	△11,321	28,889	28,466	423	

※平成24年6月分までは日本人のみ、平成24年7月からは外国人を含む。

表4 月別人口動態

(単位:人)

年 月	増減数		自然動態						社会動態					
			出生児数		死亡者数		自然増減数		転入者数		転出者数		社会増減数	
R6年10月中	△642	(323)	584	(9)	1,342	(4)	△758	(5)	2,072	(574)	1,956	(256)	116	(318)
11月中	△773	(135)	540	(9)	1,394	(7)	△854	(2)	1,644	(334)	1,563	(201)	81	(133)
12月中	△1,147	(88)	529	(5)	1,694	(8)	△1,165	(△3)	1,943	(380)	1,925	(289)	18	(91)
R7年1月中	△1,602	(88)	565	(8)	2,165	(10)	△1,600	(△2)	1,825	(390)	1,827	(300)	△2	(90)
2月中	△1,411	(145)	493	(7)	1,651	(6)	△1,158	(1)	1,834	(374)	2,087	(230)	△253	(144)
3月中	△2,205	(76)	529	(14)	1,644	(9)	△1,115	(5)	5,010	(679)	6,100	(608)	△1,090	(71)
4月中	300	(590)	510	(7)	1,417	(8)	△907	(△1)	4,382	(973)	3,175	(382)	1,207	(591)
5月中	△900	(180)	554	(11)	1,324	(6)	△770	(5)	2,036	(506)	2,166	(331)	△130	(175)
6月中	△549	(232)	556	(6)	1,272	(10)	△716	(△4)	2,094	(523)	1,927	(287)	167	(236)
7月中	△596	(165)	594	(8)	1,330	(7)	△736	(1)	2,094	(433)	1,954	(269)	140	(164)
8月中	△882	(162)	585	(5)	1,282	(5)	△697	(0)	1,833	(463)	2,018	(301)	△185	(162)
9月中	△491	(283)	505	(7)	1,350	(7)	△845	(0)	2,122	(559)	1,768	(276)	354	(283)
計	△10,898	(2,467)	6,544	(96)	17,865	(87)	△11,321	(9)	28,889	(6,188)	28,466	(3,730)	423	(2,458)

※カッコ内は外国人(内数)の数値

(1) 自然動態 [市町村別]

(令和6年10月1日から令和7年9月30日まで)

○ すべての市町村で出生数が死亡数を下回っている

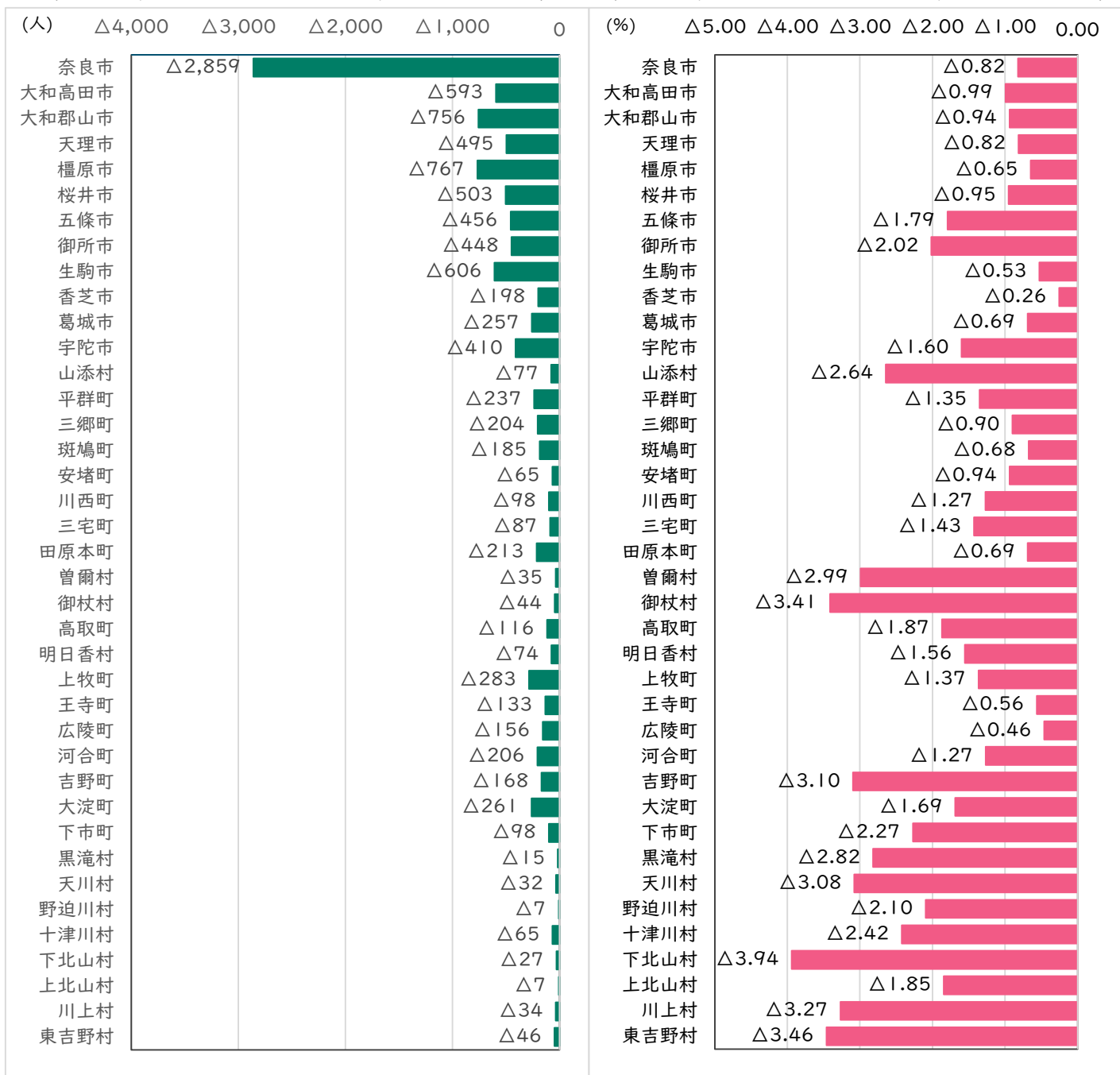
自然減少数の多い上位3市町村 奈良市 $\Delta 2,859$ 人、橿原市 $\Delta 767$ 人、大和郡山市 $\Delta 756$ 人
 自然減少率の高い上位3市町村 下北山村 $\Delta 3.94\%$ 、東吉野村 $\Delta 3.46\%$ 、御杖村 $\Delta 3.41\%$

図13 市町村別自然増減数

(令和6年10月1日から令和7年9月30日まで)

図14 市町村別自然増減率

(令和6年10月1日から令和7年9月30日まで)



(2) 社会動態 [県外移動者]

(令和6年10月1日から令和7年9月30日まで)

○ 本県への転入出者数

転入者の多い上位3都道府県 大阪府 9,372人、京都府 2,184人、兵庫県 1,706人

転出者の多い上位3都道府県 大阪府 9,571人、東京都 2,415人、京都府 2,183人

○ 都道府県別転出超過数(転出者数-転入者数)

転出超過数が多い上位3都道府県 東京都 899人、神奈川県 216人、大阪府 199人

○ ブロック別転入・転出状況

転入・転出とも、近畿ブロックが最多

図15 県外移動者数の推移

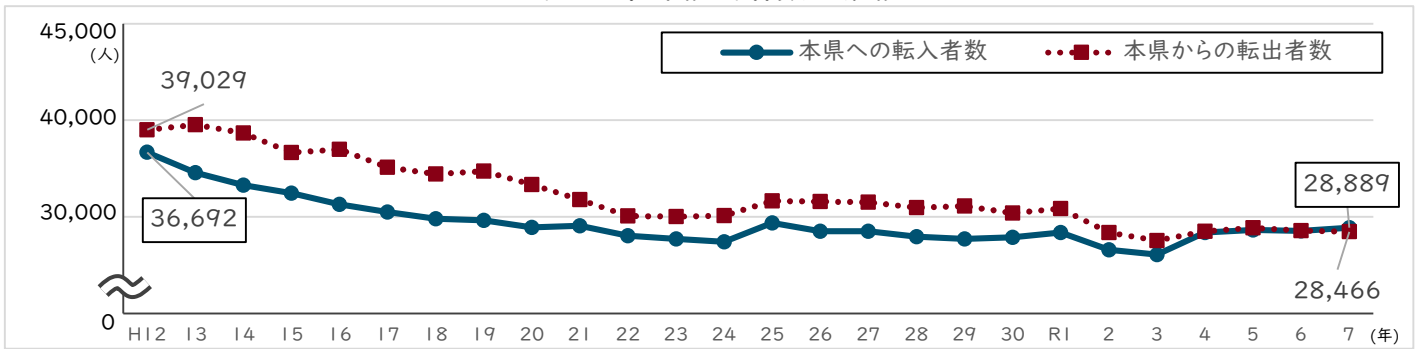
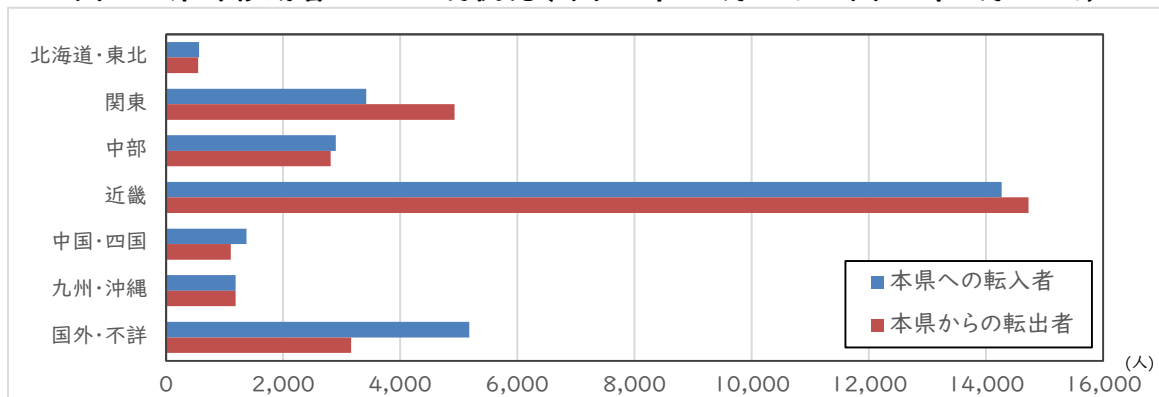


表5 県外移動者数(上位10都道府県)(令和6年10月1日~令和7年9月30日)

	本県への転入者数			本県からの転出者数			転出超過(転出-転入)数	
	都道府県名	人数(人)	構成比(%)	都道府県名	人数(人)	構成比(%)	都道府県名	構成比(%)
1	大阪府	9,372	32.44	大阪府	9,571	33.62	東京都	△899
2	京都府	2,184	7.56	東京都	2,415	8.48	神奈川県	△216
3	兵庫県	1,706	5.91	京都府	2,183	7.67	大阪府	△199
4	東京都	1,516	5.25	兵庫県	1,837	6.45	千葉県	△167
5	愛知県	946	3.27	愛知県	981	3.45	埼玉県	△142
6	三重県	877	3.04	神奈川県	915	3.21	兵庫県	△131
7	神奈川県	699	2.42	三重県	685	2.41	滋賀県	△116
8	和歌山県	542	1.88	千葉県	673	2.36	静岡県	△47
9	千葉県	506	1.75	滋賀県	579	2.03	沖縄県	△43
10	滋賀県	463	1.60	和歌山県	556	1.95	栃木県	△38

図16 県外移動者ブロック別状況(令和6年10月1日~令和7年9月30日)



(3) 社会動態 [市町村別]

(令和6年10月1日から令和7年9月30日まで)

○ 転入超過の市町村(22市町村)

転入超過数の多い上位3市町村 奈良市 474人、生駒市 192人、橿原市 166人

○ 転出超過の市町村(17市町村)

転出超過数の多い上位3市町村 宇陀市 Δ 180人、香芝市 Δ 157人、天理市 Δ 143人

※ 上記転入・転出超過数は県内移動と県外移動を合わせた合計である。

図17 市町村別転入・転出超過数
(令和6年10月1日~令和7年9月30日)

